

発議28号『首都圏新都市鉄道つくばエクスプレスの東京延伸事業早期決定と混雑緩和の早期実施を求める意見書』について、日本共産党を代表し、反対討論を行います。

まず、日本共産党市議団は、TXの早期8両編成化を毎年の政府要請で求め続けています。それは、沿線自治体による出資金により鉄道を建設し・運営させる第3セクター方式、つまり準公的鉄道としての役割や、利用者の要求ということにとどまらず、TXを運営する首都圏新都市鉄道が、開業前に発表していた8両編成化導入の目標を各項目においてクリアしているからです。意見書案における8両編成化の早期導入は、開設時からの鉄道事業者が自ら発表した約束を守らせる指導責任として、国会及び政府に意見書を提出されることは正論です。

しかし、東京延伸については拙速に求めるのではなく、いくつかの条件をクリアにした後に求めることが懸命だと考えます。

第1に、首都圏新都市鉄道(株)が44年かける返済計画の到達と今後の計画を明確にすることです。そして、今は明確にされていない今後の修繕計画も含め、明確にする必要があると考えます。

第2に、沿線全自治体の了解と東京延伸に関わる必要経費を誰がどれだけ負担するかを明確にすることです。

第3に、市民的な納得です。東京駅への直接的な乗り入れ効果は否定しませんが、JR秋葉原駅から東京駅までは電車で4分。TX秋葉原駅前コンビニから東京駅まででも8分です。ちなみに、2020年東京オリンピック開会式が行われる国立霞ヶ丘(かすみがおか)競技場までは、秋葉原駅から23分、東京駅では28分。東京体育館までなら秋葉原20分、東京駅からは23分ですから遜色ありません。

H18年6月議会ですでに、沿線自治体のどの議会よりもいち早く決議を上げ、鉄道事業者に直接求めた経過があることから、この時期に再び、そしていまだ鉄道事業者自身が国交省への延伸申請をしていない中で、直接的権限のない国に意見書提出がどれほどの効果があるのか、懸命な判断なのか疑問を持つものであり、今意見書には反対とするものです。